

平成28年度 学校評議委員会

第1回学校評議委員会

- 1 日時 平成28年7月5日(火) 15:00~16:30
- 2 場所 校長室
- 3 意見交換 ※学校評議委員→委員、本校職員→職員

(1) 学校概要説明

職員：PTA総会出席者120名以上 およそ去年の2倍の出席率となった。

職員：4月20日に一関選挙管理委員会の講師をお招きし、主権者教育を実施した。
3年生53名の対象生徒には、学校行事のため期日前投票の呼びかけをしている。

職員：5月2日(月)開校記念日特別講演会が開催された。学校の歴史にふれ、さらに講師には同窓生をお招きし、南極での貴重な体験を映像や写真で紹介していただいた。

委員：平成28年度基礎力確認調査でポイントが上がっている理由は？

職員：本校では、生徒の自己肯定感が年々上昇してきている。世の中に出て大切なことを授業、部活動、資格指導を通じて教え、先生方が生徒に自信を付けさせている結果、活躍につながっている。

職員：部活動における生徒同士のコミュニケーションや自主性が、部活動の活躍につながっている。

職員：生徒と教員の信頼関係が年々良くなってきているように感じる。

委員：工業高校の生徒は自転車のマナーが良い。

職員：全てのマナーアップを目標にし、先生方が指導している。

委員：卒業式で感心した。担任への大きな声での挨拶が素晴らしかった。感動した。

職員：在校生も真剣に対応していた。卒業後すぐ就職する生徒を送り出す側として、儀式や集会、授業など受ける態度や心構えを継続して指導していく。

(2) さらに学校を良くするためには？

委員：企業は、学校の授業とは全然違う。学校では親御さんがお金を出して勉強している。しっかりと考えて、目標や意識を高めて臨んで欲しい。

委員：問題を解決するための頭の整理の仕方が重要。ジュニアマイスターは挑戦や目標の達成力にはとても良い。頭の整理、考え方がしっかりしていると活躍が期待できる。

職員：課題研究の授業でもっと難しい課題に取り組み、指導していく。

委員：給料は誰からもらっているか？会社(社長)ではなくお客様から頂いているという意識が必要。おおいに壁にぶつかり、自分なりにしっかり判断できる経験をしてほしい。

委員：当たり前のことを当たり前にやってほしい。そのために挨拶をしっかりする。

(3) 学校再編について

委員：生徒数減少は仕方ない。ILCの関係で技術のある生徒を育て、地元で密着型の流れでは4学科は少ないのでは？科を増やすことで宮城県北、宮城県内の希望者も増えるのでは？人数が減るから学校再編で縮小するのではなく、

強みを持った学校にするためにも科を増やしてみようか。